

学校名 [古城小学校] 氏名 [市川 孝仁] [小] 学校 [4・5・6] 年版 単元名 [地震のメカニズムを知ろう] P. 22～23 教科・領域名 [理科] [時間 45分]	
【ねらい】地震の発生するメカニズム（プレート間地震と内陸断層型地震）について知り、日本付近に存在するプレートや身近な地域の活断層を確認して、地震への備えを考える。	
主な学習活動 ・ 実際に行った活動	指導の実際 ・ 児童の反応
1 なぜ地震が起こるのか、自分の知っていることや予想を書く。 ・ワークシートに知っていることや予想を書く。	<ワークシート①> ・ プレート同士がぶつかり合い、一つのプレートが下に入って限界になったとき、はねかえるから。 ・ 世界中にプレートがあって、常に動いているから。
2 地球上で地震が発生している場所と震度を確認し、地震が起こりやすい場所を調べる。 ・映像資料を見て、①プレート境界線に地震が多いこと、②毎日、世界中で地震が起こっていることを調べる。(参考 2011年の地震発生回数 M4.5以上 9527回、M6.0以上 205回)	<映像資料> 「世界の地震 分布図 World earthquakes map」 www.youtube.com/watch?v=oQ-fq2xNXdU ※8分36秒の動画だが、初めの3分間だけ視聴する。映像資料は、2010年1月からの地震(M4.5以上)の記録だが、2011年3月まで進まないよう配慮する。
3 プレートテクトニクスについて、映像資料を見て知る。 ・映像資料を見て、プレートの動きと地震の発生について知る。	<映像資料> 「じおじい・もじおの地球はワンダフル」 https://www.youtube.com/watch?feature=player_embedded&v=8fOnN2UsJLc
4 日本付近に存在するプレートについての地図を着色し、我が国の国土がプレートの境界付近にあることや、地震が多い国であることを実感する。 ・ワークシートのプレート地図を着色し、気づいたことや分かったことを書く。	<ワークシート②> ・ 日本には、たくさんプレートがあることが分かった。 ・ 日本は4つのプレートの上にあるから、いろいろなところで地震が起こる。だから、日本は地震が多い国だと言われているんだと思う。 ・ 北アメリカプレート、フィリピン海プレート、ユーラシアプレートを合わせると日本が入る。プレートの境が東京の近くにある。
5 プレート間地震だけでなく、断層のずれによる地震もあることを知り、身近な地域の活断層を調べる。 ・断層のずれによる地震もあることを知り、ワークシートで自分たちが生活している地域に 長町・利府断層があることを確認する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <教師の話> この地球上から地震をなくすことはできません。しかし、地震の被害を少しでも小さくするために、私たち人間に準備できることはたくさんあります。地震に関する研究や緊急地震速報の活用など、世界中の人々が協力して、様々な研究・開発が行われているのも、その一つです。では、みなさん小学生に、できることはないのでしょうか。いや、たくさんあります。地震に備えることは、子供も大人も、みんなにとって大切なことなんです。さあ、みなさんも、自分にできる「地震への備え」を考えてみましょう。そして、今日ここに書いたことをおうちの人と話してみたり、実際に準備したりしましょう。 </div>
6 地震をなくすことはできないが、被害を少なくするための備えはできることを知り、今の自分にできる地震への備えを考える。 ・教師の話を聞き、自分にできる地震への備えを考えてワークシートに記入し、ペアで伝え合う。	※児童の意見は別紙参照のこと